

2022年度 2期 支援対象者による活動報告



井田 奈穂 (いだ なほ)
一般社団法人あすには [代表理事]
<https://asuniwa.org/>

▶ プロフィール

2018年に全国の地方議会から国会へ選択的夫婦別姓推進の意見書を送る活動を開始。国会でも8党を対象に議員陳情、超党派勉強会に取り組む。女性リーダー支援基金の助成を受け、2023年7月7日、誰もが自分らしく暮らせるジェンダー平等社会の実現を目指して一般社団法人「あすには」を設立。

▶ 活動支援金の活用状況について

法人設立に関わる費用の一部として、以下、助成金から支出させていただきました。

- 公式サイト作成料
- 印鑑、ポスター作成等クラウドファンディング開始
- 設立登記にかかわる行政書士への依頼料一式
- 行政書士への顧問料(2023年9月～10月)
- 税理士への顧問料(2023年9月～10月)
- 法人拠点賃料(2023年6月～10月)
- 法人設立発表記者会見に関わる費用一式
- 記者会見資料印刷代
- ビデオメッセージ編集料

▶ 現在の活動の状況と、今後の展望

各チーム活動状況

【陳情アクションチーム】

- ① 地方議会意見書可決: 10/11時点で全国の可決数376件。うち香川県直島町9/13、北海道鹿追町9/25、神奈川県藤沢市10/10など137件をメンバーの働きかけ。
- ② 国会陳情: 政権中枢の意思決定層を中心に陳情を継続。
- ③ 知事陳情: 選択的夫婦別姓・同性婚の法制化を国に要請してほしい／「SOGI問わないファミリーシップ制度」の2点を要望。9/6京都府知事、9/8香川県知事宛要望書提出。9/27東京都議会にて小池百合子知事が「事実婚実態調査の実施」公表。

【教育研修チーム】

11/3「海外別姓婚のノウハウ」イベント、11/16国際男性デーイベント実施。

【グローバルチーム】

2024年CEDAW日本審査に向けレポート作成開始。NGO CSW68 Forum登壇決定。

【ビジネスリーダー事務局】

12/5経団連、12/16経済同友会にて選択的夫婦別姓勉強会実施確定。

<活動報告サイト> <https://chinjyo-action.com/asuniwa-kickoff/>



風間 暁 (かざま あかつき)
特定非営利活動法人ASK
[社会対策部]
<https://twitter.com/k6rm6>

▶ プロフィール

自らの経験をもとに、依存症と逆境の小児期体験の予防啓発と、依存症者や問題行動のある子ども・若者に対する差別と偏見を是正する講演や政策提言などを行なっている。分担執筆に『「助けて」が言えない子ども編』(松本俊彦編著、日本評論社、2023)、最新著として『専門家と回復者に聞く学校で教えてくれない本当の依存症』(合同出版)。

▶ 活動支援金の活用状況について

市販薬依存であったり、自傷などの行動表出がある若者たちの支援に際して、これまで自腹で捻出してきたぶん、ずっと先延ばしにしてきた車のオイル交換や、壊れた家具の買い替え、食材など、自分の生活のために半分ほど使いました。残りは、引き続き、若者たちの支援のために使っています。会って食事に行く時のご飯代や交通費であったり、緊急で逃げるためのホテル代であったり。あとは、ひきこもり・不登校の子どもたちと一緒に時間を過ごし、なんとか今日一日を一緒に乗り越えていくということもして、そのためにオンラインの居場所をつくりました。作成と維持に費用がかかるわけではありませんが、とにかく時間がかかるため、そのぶん仕事をセーブしました。その補填としても使用させていただいています。

▶ 現在の活動の状況と、今後の展望

まだまだ、自分でしかできないことをしている自覚があり、持続可能性が低いと感じています。そして、事業展開できるようなことでもなく、本当に地道な草の根で、誰かの命を、今日一日だけ繋ぎ止めるやり方です。必要ですが、なかなか広く、橋渡ししていくことが困難な道のりです。仲間を募り、持続可能性を高めていくためのアイデアを練りたいです。



河野 恵美子 (この えみこ)
大阪医科薬科大学一般・消化器外科
[助教]
<https://www.aegis-women.jp/>

▶ プロフィール

2008年より外科分野におけるジェンダー平等と女性のエンパワーメントの実現を目指し活動を開始。2011年「外科医の手プロジェクト」を立ち上げ、2015年2名の女性外科医と消化器外科女性医師の活躍を応援する会を設立。2020年に内閣府男女共同参画局「令和2年度女性のチャレンジ賞」を受賞。

▶ 活動支援金の活用状況について

活動支援金は主として2つのことに活用させていただいています

1. 政治

日本の中心で政治を動かしている人がどのような考えをしているのか、どうすれば男女格差是正ができるのか、その糸口を見つけるために政経塾に入塾しました。政治やリーダー論を勉強させていただいております。

2. 研究

手術で使用する医療機器は男性仕様であり、女性は使い勝手が悪いと感じており、労働関連筋骨格系障害も多いのが現状です。これを是正するために手術機器の研究や開発を行っております。支援者に選定いただいてから2本の論文を発表し、いずれもパブリックリソース財団からご支援いただいていることを明記させていただきました。

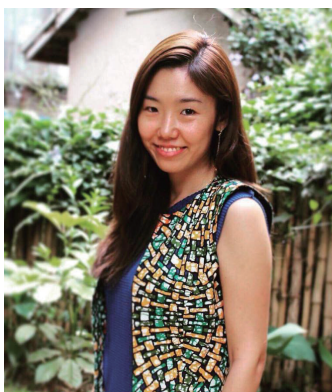
▶ 現在の活動の状況と、今後の展望

各チーム活動状況

2022年に手術執刀数の男女格差と男女別の手術短期成績の研究結果を超一流雑誌であるJAMA Surgery (IF16.9:外科系雑誌世界第1位)とBMJ (IF93.3:医療系雑誌世界第5位)に発表しました。その結果をうけて、2023年7月14日に男女の均等な活躍に向けた意識改革や支援を盛り込んだ宣言(函館宣言)が日本消化器外科学会から発出されました。

2024年以降も重要なジェンダー研究を世界に発表し、学会を動かしたいと考えております。さらに外科に留まらずいろんな業界の方々と繋がって、日本全体の女性の社会的地位向上に寄与できるような活動もしていきたいと考えています。

<活動報告サイト> <https://www.asahi.com/articles/ASR7M5TX4R7JOXIE048.html>



仲本 千津 (なかもと ちづ)
株式会社RICCI EVERYDAY
[代表取締役]
<https://www.riccieveryday.com/>

▶ プロフィール

1984年静岡県生まれ。大学院を卒業後、大手邦銀で法人営業を経験。その後、国際農業NGOに参画し、ウガンダの首都カンパラに駐在。その時に出会ったシングルマザーたちとともに、カラフルでプレイフルなアフリカンプリントを使用したバッグを扱う「RICCI EVERYDAY」を日本に暮らす母と立ち上げる。

▶ 活動支援金の活用状況について

活動支援金は、女子中学生のリーダーシップ教育事業に関連する業務に使用された。まず本の出版である。当方を題材とした書籍「江口絵理著『アフリカで、バッグの会社ははじめました』さ・え・ら書房」を6月に出版した。本書は日本の中学生を対象とした児童書であり、全国の多くの図書館に置かれただけでなく、出版に伴いメディア取材を受け、広く周知させる活動を行った。二つ目にベネッセが主宰する「みらいキャンパス」にて半年かけて授業を受け持ち、小学校高学年から中学生までを対象に、グローバルマインドを育むカリキュラムを開発・提供した。三つ目には、中学校・高等学校・大学での講演会を10回以上実施し、当方の経験をもとにグローバルマインドを養うことを目的とし内容を展開した。最後に、自社独自の女子中高生向けリーダーシップ教育プログラムの開発を進めている。内容が固まり次第、いくつかの学校で試験的に展開し検証を行う予定である。

▶ 現在の活動の状況と、今後の展望

日本の若い世代の女性たちを対象にリーダーシップ教育を行いたいと思ったきっかけは、以下リンクにあるような現実があることを、数年前から感じていたからである。

<https://yourchoiceproject.com/column/pressrelease2023>

私自身も地方出身だったが、幸いにして、意図することなくリーダーシップを育むことのできる環境に恵まれた。ただこれは全ての女性に当てはまることでは決してない。私がこれまで学んできた知見を、ワークショップ形式の研修プログラムに落とし込み、全国の希望する女子中学生向けに展開することで、リーダーシップを育む場を提供していきたい。また彼女たちが社会に出た時にリーダーシップを発揮しながら、時にさまざまなバックグラウンドを持った人々と協力し、ありがたい姿・社会を実現できるサポートをしていきたい。この目標を達成できるように、今後も活動を進めていきたいと考えている。

<活動報告サイト> <https://www.riccieveryday.com/collections/unstoppable>



咸 多栄 (はむ だよん)
bgrass株式会社 [代表取締役]
<https://bgrass.co.jp/>

▶ プロフィール

新卒でSierに入社。エンジニアとして開発やプロジェクトリーダーを担当。2020年にWeb業界にキャリアチェンジ。その傍らsisterをリリース。2021年11月に独立。2022年7月にbgrass株式会社を設立。IT業界のジェンダーギャップ解消を目指し精力的に活動。100人以上の女性エンジニアと1on1を実施しキャリア転職相談をうける。

▶ 活動支援金の活用状況について

IT企業と女性エンジニアをエンパワメントする厳選転職サービス「Waveleap」の開発運営をしています。すでに25社の導入と300人以上の女性エンジニアに利用していただいています。まだまだクローズド運営ながら、ここまでミッションビジョンに賛同していただいた企業が多いことに日本企業のジェンダーギャップへの課題感に期待を持つことができます。

▶ 現在の活動の状況と、今後の展望

IT業界での女性管理職は6%以下です。まだまだロールモデルが少なく、ミドル層止まりの女性が多いように見えます。私はリーダーとなる女性を育成するというよりも、女性のも当たり前のように「リーダー」という選択肢があるということが重要だと思います。選択肢があった上で意思を持ってリーダーにならないのと、選択肢がなくてリーダーに慣れないのは全く違います。そのためにもロールモデルをどんどん増やしていく必要があると思います!! どんどん背中を見せていきます!

<活動報告サイト> https://twitter.com/damuha_



福田 和子 (ふくだ かずこ)
#なんでないのプロジェクト
FIFTYS PROJECT
[SRHRアクティビスト]
<https://lit.link/kazukof>

▶ プロフィール

スウェーデン留学をきっかけに、2018年日本でのSRHR (性と生殖に関する健康と権利) 実現を目指す#なんでないのプロジェクトを開始。スウェーデン・ヨーテボリ大学公衆衛生学修士号取得後、国連人口基金ルワンダ事務所に勤務。現在は東京を拠点にSRHR、ジェンダー平等を軸に執筆、講演、政策提言等を展開。

▶ 活動支援金の活用状況について

- スウェーデンの性的同意ワークショップ&文化交流イベント開催費用 (4月)
スウェーデン性教育協会と連携して、性的同意ワークショップを開催しました。
- 中絶薬が10万円はありえない オンライン署名費用 (9月)
中絶薬のアクセス改善のための署名を立ち上げ、そのトップ画像のための費用に使用。現在約1.5万筆集まっています。
- Women Deliver参加費用補助/参加報告会開催費用 (7月、9月)
ルワンダで開催された世界最大級のジェンダー平等に関する国際会議 (Women Deliver) にWDヤングリーダーとして参加、足りない費用を補助させて頂きました。その後9月に報告会をハイブリッドで開催しました。
- SRHRスタンディングアクション開催費用 (9月)
中絶薬や緊急避妊薬のアクセス、性暴力刑法改正、LGBT理解増進法など、SRHRに関して様々な動きがあった2023年を振り返り、未来へ連帯を可視化する、はじめてのSRHRスタンディングアクションを東京駅で開催しました。

▶ 現在の活動の状況と、今後の展望

G7イヤーの今年の中絶薬の承認、緊急避妊薬の試験的薬局販売、LGBT理解増進法制定、性別変更における強制不妊手術の違憲判決、優生保護法国家賠償訴訟での原告勝訴判決など、SRHRに関連して本当に大きな動きが色々見られました。ただ一貫して言えるのが、一部の進展を除き、聞こえはいいけれど実際よく学ぶと不足も多い、むしろ後退の可能性もある内容もありました。しかしその中でも、報国会などを通じ国内外を結ぶ活動、そしてG7のためのアドボカシーやSRHRスタンディングを通じて国内のSRHR関連団体との連帯を築けたことが、ジェンダー平等やトランスの方々へのバッシングが強まる中で大きな進歩だったと思います。

一方個人的には、戦争、ジェノサイドとも非難されるような非人道的な攻撃さえ起きている今、ひとりのアクティビストとして、周りの人たちと一緒にいかに日本のことにも世界のことにも、絶望しないで目を向けられるのかを課題に感じています。

<活動報告サイト>

[SRHRスタンディングアクション中継] <https://www.youtube.com/watch?v=kRT36YnfRCI>
[中絶薬署名] chng.it/FMKqdQ9WsH



森崎 めぐみ (もりさき めぐみ)
一般社団法人日本芸能従事者協会
[代表理事]
<https://artsworkers.jp/>

▶ プロフィール

俳優。一般社団法人日本芸能従事者協会代表理事。全国芸能従事者労災保険センター理事長。共立女子大学非常勤講師。著書に日本法令『フリーランスの働き方と法 実態と課題解決の方向性』（11月21日発売）共著、大原労働記念研究所『労働の科学』『芸能従事者の今』連載。文化庁「文化芸術分野の適正な契約関係構築に向けた検討会議」委員。

▶ 活動支援金の活用状況について

メンタルケア相談窓口「芸能従事者こころの119」臨床心理士業務委託費用、パソコン購入費、ホームページ改修費用に活用させていただきました。

▶ 現在の活動の状況と、今後の展望

フリーランス初の法的保護を勝ち取った芸能従事者労災保険の加入者と会員を増やし、独自の調査研究から安全衛生対策を推進。米国のストライキやアジア懇談会、国連人権委員会などを通して国際連携を強め、更なる弱者保護と待遇改善に努めた。